

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2025年6月通常総会議事録

日 時：2025年6月17日（火） 13:00～16:30

場 所：東京都千代田区 TKP神田ビジネスセンター 604

出席者：1頁参照

1. 開会

司会の竹村理事より開会が宣言された。

2. 本通常総会概要説明等

安田会長の挨拶の後、教習検定委員会（現：教員スクール事業委員会）等でも活躍してきた山梨県ハング・パラグライディング連盟の故岩橋亘理事長へ黙祷を捧げた。

日本学生フライヤー連盟の浅田拓郎副理事長より、3月末に学生連盟総会を開催、イベント参加者を増やしていくこと等の報告があった。

3. 定数の確認・議事録作成人の指名

司会より、議事進行上の注意事項と、会議運営の説明が行われた。

4. 定数の確認・議事録作成人の氏名

本総会の出席確認をした。

出席確認：

出席正会員 46名（内会場出席 20、バーチャル出席 10（含議決権行使1、委任1）、
委任 2、議決権行使 16名）

合計出席者 46名 総会員数 47名 欠席 1名

総正会員の過半数の出席を得て、本総会は成立した。

議事録作成人の指名： 事務局長 桜井加代子

議事録署名人： 出席理事・監事

定款により安田会長が議長となった。

5. 総会の目的事項

報告事項1 2024年度事業報告について

安田会長から、2024年度はフライヤー会員の高齢化に伴う会員数減少が続き、若手会員を増やすことが今後の課題であること、リモート参加のハイブリッド会議が一般的になり経費の削減に効果があつたこと、安全セミナー開催等で一層安全に対する啓蒙活動を進めることと収支の現状報告の後に質疑に入った。

岡山県連：総会は録音が出来ない、録画はなぜ公開しないのか。

議長（安田会長）：総会の構成員は正会員で一般フライヤーではないので公開していない。

岡山県連：法的な根拠なのか、秘密裏になっている。

竹村理事：理事会議事録、総会議事録は一般公開している。SNS懸念もあり公開していない。ご意見は今後理事会で検討する。

報告事項2 2024年度決算報告・監査報告について

安田会長から決算報告の後質疑に入った。

岡山県連：日本選手権補助金の予算内訳と、ジャパンリーグ大会運営の違い、予算使途はどうなっているのか。

山口理事：日本選手権はJHF主催事業として実行委員会に委託している。

濱田理事：今後はエリア整備費等の予算削減は予定している。

P G競技委員会 岡委員長：通常のリーグ大会と日本選手権は日数、規模も違う。

茨城県 板垣理事長：茨城は足尾エリアで日本選手権を開催しているが、補助金でエリアの整備も出来ている。

東京都 内田理事長：保険料が200万円増加と言っているが詳細が分からぬ。

竹村理事：2025年から会員向け保険料が値上げしたがここには出ていない。

兵庫県連：HGスポーツクラス助成金の前年度の正味財産増減計算書と内訳表が合っていない。

竹村理事：正味財産増減計算書の前年度のHGスポーツクラス助成金にはJ2助成金も含まれていたのでHGスポーツクラス助成金「等」と訂正する。内訳表が正しいので再度確認して報告する。

岩村監事 監査報告：事業報告と決算書類を適正と認めたこと、総合的な赤字で緊縮した予算になっていることを報告した。

神奈川県連：監査報告書が西暦と和暦になっているので合わせたらどうか。

決議事項1 貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

報告事項2の中で説明された、貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）並びにその附属明細書および財産目録の承認について、指摘があった箇所の正味財産増減計算書については報告することも含めて議決する。

決議事項1について採決し

【賛成：46（会場出席 22（含委任2）、オンライン出席8、議決権行使16） 反対：0棄権：0】
で2024年度貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）は承認された。

報告事項3 2025年度事業計画について

安田会長から2025年度事業計画について概要説明を行い、質疑に入った。

P G競技委員会 岡委員長：29ページで計画書作成後に決まったことを報告する

6 XC日本選手権の開催は10月11～14日に徳島県吉野川

7 アキュラシー日本選手権は11月頃に朝霧で予定

8 世界選手権のブラジルの開催場所がカステロに変更

9 アキュラシー世界選手権は日程が10月9日～19日に変更

大阪府連：事故があったが事故調査の仕組み、教員検定員の勉強会等はどうなっているか。航空事故等はスペシャリストが調査していることもあり、事故調査の教育等を検討して欲しい。

安全性委員会 目黒委員：直近の事故は安全性委員か事故近くの教員検定員に依頼している。重大事故の場合は遺族のことも考えて49日以降にしている。勉強会は委員会で確認、検討したい。

岡山県連、新潟県連：保険は免責を入れた方がよい。

議長（安田会長）：保険会社が決めることである。

静岡県連：会費は海外に比べると安い。全てサービスが受けられない子供料金等を設定する配慮を検討して欲しい。

岡山県連：昨年総会でX—A L P Sは普及効果があると言われたが調査したら効果はない。会員も番組を見ていない。普及について結果報告が欲しい。

議長（安田会長）：J H F事業で普及や宣伝の費用対効果は不可能である。

岡山県連：教本等デジタルを利用したらどうかと以前に要望した。

議長（安田会長）：教員スクール事業委員会は教本制作にどのくらいかかっているか。

教員スクール事業委員会 北野委員長：教本は足掛け7年かかっている。P D Fで配布出来ないか検討したが経費は同じくらいであった。現時点で簡単な手段があれば検討したい。

報告事項4 2025年度収支予算について

安田会長から収支予算報告の後、質疑に入った。

静岡県連：フライヤー会員の予算収入は会員数減少気味だが増えている。

竹村理事：2024年から1年会員のみになり3年会費計算の関係である。会員数は減少を見込んでいる。

岡山県連：予算が正会員に届くのが直近なので県連で検討出来ない。

竹村理事：予算は委員長会議で意見を出してもらい理事会で前年度を踏襲して決め3月末に内閣府へ報告している。

定款上総会の4週間前に資料を出しているが、今後は分かるものから公開するように理事会で検討する。

静岡県連：海外局費とシステム補修費は何なのか？

芦川副会長：海外局費はCIVL総会の費用、システムはこれから改訂していく費用である。

PG競技委員 村上：機体登録費予算が決算見込みより増えている。

竹村理事：機体登録システムを立ち上げることが遅れているので対応していく。

決議事項2 公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟定款一部改正について

安田会長より4月より法人法改正により外部理事、外部監事が必要になったこと、必要最小限の制度改革を制度委員会に諮問しての改正案である説明があり、制度委員会 中瀬委員長から改正箇所の説明があり質疑に入った。

神奈川県連：現監事は外部理事の資格はあるのか。社員はなれないとする。

制度委員会 中瀬委員長：J H F社員は正会員なので外部監事の資格はある。

東京都連：外部理事は業務執行に関わってはいけないとあるが、外部理事は何をやってよいか、何をやってはいけないか。外部への対応や大会等の参加は出来ないのか。

竹村理事：法律の考え方は透明性、公益性を持つことで、外部理事、外部監事は発言も議決権もあるが業務執行が出来ない。外部として意見が出来る。現在は内閣府に確認をしても不透明な部分があり、コンプライアンス対策の中で詳細が不明な所もあるのが現状である。

神奈川県連：立候補する際、意思表明書にやりたいことが書いてあるが業務執行にならないのか。

竹村理事：今の法律の外部理事になれない項目には該当せず、内容は了承してもらっているので就任は可能である。選任後の理事会で明確化して進めたい。

決議事項2について採決し

【賛成：46（会場出席 22（含委任2）、オンライン出席8、議決権行使16） 反対：0 異議：0】
で定款改正が承認された。

決議事項3 J H F役員選任規約一部改正について

役員選任実行委員 鈴木委員長から外部理事、外部監事についての定款変更に伴い規約を改正する説明の後、質疑に入った。

東京都連：役員選任規約は定款に基づいている。事前投票があったが順番が逆である。文書総会が必要ではなかったか。

議長（安田会長）：定款変更、規約変更をしてから立候補が本来ではあるが、法律改正への迅速な対応のため、この方法が採用された。

決議事項3について採決し

【賛成：46（会場出席 22（含委任2）、オンライン出席8、議決権行使16） 反対：0 異議：0】でJHF役員選任規約の改正は承認された。

決議事項4 JHF役員の選任について

役員選任実行委員 鈴木委員長：事前郵送で本日事務局から受け取り、委員会で開票作業をした。定款17条に基づき一人ずつ信任していく形で投票の結果を発表する。

決議事項4 役員選任について

理事：芦川雄一郎 39 高瀬吉康 38 竹村治雄 38 橋田明夫 37 濱田革 40
横田開 38 外部理事：廣川靖晃 40 外部監事：岩村浩秀 40

立候補者全員が承認された。

6. 報告及び連絡事項

制度委員会 中瀬委員長からJHF競技会及び選手選考等規程を2024年12月17日に制定した説明、ハングエイドの協力依頼があった。

青森県連より、来年度開催の国体でパラグライディングアキュラシー競技を7月4日に開催。県外からは賛助会員登録が必要になるが応募のお願いがあった。

司会（竹村理事）：他にご意見等お願いします。

愛知県連：県連活動で体験会を開催しているが年齢的に難しくなり、VR体験を開催したい。

竹村理事：毎年開催している一般財団法人日本航空協会（以下JAA）主催「空を見上げて」熱気球のイベント（東京臨海広域防災公園）は東京都連が協力しているが一昨年はハンググライダーVR、昨年はJHFとしてもパラグライダーVRで協力した。昨年3月、今年5月のJAAイベントもパラグライダーVRで協力をした。正会員体験会で利用したい際は事務局に相談して欲しい。

新潟県連：安全性委員会にも所属しているので、安全性委員会からのお願いになるが、レッグベルトとクロスチェックの徹底を正会員の皆さんからも啓蒙をお願いします。

安全性委員 目黒：レスキューリパックについての問い合わせがJHFにあったが「レスキューリパック認定証を持った人によってリパックされたパラシュートを装備する」とエリアルルールに入れて欲しい。

竹村理事：外国のチェックシートは製造年を過ぎていたら責任は持てないことをサインする欄もある。今後はJHFも改訂するように委員会で検討する。

岡山県連：県内や九州、四国等で競技に参加している人がいない。JHFは制度を作る上でサンデーフライヤー、レジャーフライヤー向けにした欲しい。

山形県連：会員が少ない地域でも事故はあるので、事故がないように統一していくことは必要。地方だから極端に環境が違う訳ではないので全国で一緒に出来ることはある。

濱田理事：北海道連盟は、競技者は少ないし会員も分散しているが全国レベルになるように活動している。委員会も全国に情報がいくように努力する。

京都府連：事業として山沈回収講習会を開催して次で4年目になる。県連同士で講習会を開催出来ればよい。ご参加いただけるようでしたらご連絡ください。

新潟県連：上級タンデム検定会をもっと増やして欲しい。

山口理事：上級タンデムは10年位続けよい傾向である。継続は検定会の開催を増やすといけないが検定員が3人必要なので苦労している。委員会でも検討して早目に開催はするがどうしても冬に検定が増える。

岡山県連：平日は受検に行けないこともあります、3人検定員が必要ではあると思うが、ビデオ判定や各検定員のところで受検することも検討して欲しい。

香川県連：JHFフォトコンテストの優秀作品で装備が駄目な作品もあった。

議長（安田会長）：そういう意見も出ると思っていたが、よい作品なので普及に役立つことで選ばれた。

新潟県連：教員がいないエリアで中古機材が流行している。装備があつてない、古いグライダー等のフライヤーを見かける。正会員の皆さんからも注意喚起して欲しい。

岡山県連：JHF会費は7千円が上限であると思う。いくらまで考えているのか。

竹村理事：フライヤーの皆さんが安全に飛んで事故を減らせば保険も安くなる。会費を上げる予定はない。

司会（竹村理事）：では今回退任される方の挨拶をお願いします。

山口理事：委員会と理事で10年間やりました。任期終了です。ありがとうございました。

安田会長：会長は4年間やりましたが、かなり大変でした。前会長からも続いていますが、大切なのは自由な空を守ることですので、今後も守って欲しい。

5. 閉会

司会より閉会が宣言された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し、記名捺印する。

令和7年6月17日

議長・理事 安田英二郎 印

理事 芦川雄一郎 印

理事 竹村治雄 印

理事 橋田明夫 印

理事 濱田 革 印

理事 山口隆文 印

監事 岩村浩秀 印

議事録作成人： 桜井 加代子